

防災“も”まちづくりワークショップ

地域の力でのりこえる災害、自助・共助の強化



神奈川県茅ヶ崎市都市部都市政策課
副主査 門倉 直樹

1 はじめに

茅ヶ崎市では、地震に対する危険性を把握し、市民と行政が協働で災害に強い都市づくりを推進することを目的に、平成20年度に「地震による地域危険度測定調査」を行いました。この調査では、建物倒壊危険度、火災危険度、道路閉塞率、地区内通過確率について調査を行い、特に火災危険度において、本市には、延焼火災の危険性の高いクラスター地域が広く分布していることが判りました。このような広範囲にわたる被害は、公助だけでは対応が困難であり、自助・共助の取組

みの重要性が認識され、調査翌年の平成21年度から「防災“も”まちづくりワークショップ」を開催し、地域における自助・共助を育み、地域防災力の強化を図る取り組みをおこなっています。

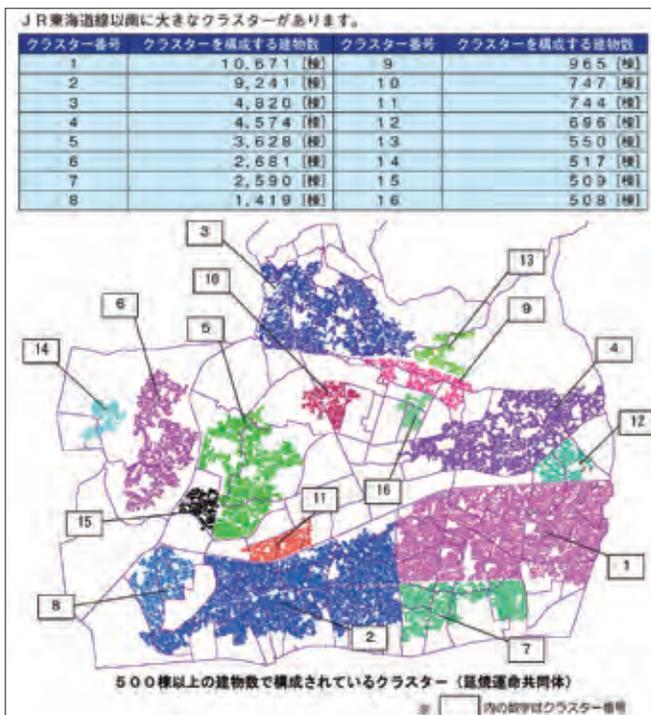
2 防災“も”まちづくりとは

「防災“も”まちづくり」とは本市における都市防災の推進に長年ご協力いただいている東京大学加藤孝明教授が提唱する考え方の名称で、自助・共助といった地域の防災力を強化するためには、地域において防災“だけ”を取り組むのではなく、防災の取り組みと日常の取り組みをできる限り重ね合わせ、他の地域課題と防災“も”合わせて総合的に取り組むことで、防災の持続性と推進力を高めていくといった考えです。

3 実施内容

このワークショップは、市内を13地区に区分した「まちぢから協議会」の地区単位で開催しており、令和4年度は11地区目となる茅ヶ崎地区において防災“も”まちづくりワークショップを開催しました。地区の住民約50名が、6グループに分かれて計3回、加藤教授のアドバイスを受けながら防災“も”まちづくりについて話し合いました。

第1回は「災害時をイメージし、地区内の取組と工夫を共有する！」



500棟以上で構成されているクラスター図

をテーマとし、加藤教授による基調講演で「防災“も”まちづくり」について学んだ後、ハザードマップやまちの基礎情報を基に、災害時に地区で起こる状況を具体的にイメージしてもらいました。その後、グループワークを行い、日常のコミュニティ活動と、その活動の中にある防災上の効果等を話し合い、最後にグループごとに話し合った内容を発表することで、共有を図りました。

第2回は「日常のまちづくりと非日常の防災に活用できる資源を探す！」をテーマに、地域内の危険箇所や災害時に活用できる資源の他、災害後も残したい地域資源などを、まちあるきで確認しました。いつも見ている場所でも、視点を変えて見てみると、新たな発見や今後の活動に向けたヒントがあったようです。まちあるき後は、地区内で活動している事業者と災害時の連携について意見交換を行い、グループごとに、まちあるきや事業者との意見交換を通じて、気づいたことや感じたこと、また、今後の活動について話し合いました。



まちあるき中の様子

第3回は「事前にできることのアイディアを整理する！」をテーマに、これまでの2回のワークショップで話し合ったことを踏まえて、グループワークを行いました。前半は今後のまちづくり活動をアクションプランとしてまとめ、後半はアクションプランをさ

らに具体的なものとするため、次年度に行う活動や活動場所、実施体制を整理し「防災“も”まちづくりマップ」を作成しました。



グループワーク中の様子

4 おわりに

防災“も”まちづくりワークショップでは、ワークショップを開催した翌年度に、ワークショップでの取り組みや、ワークショップを契機に始めたまちづくり活動について、地域に広く共有することを目的にシンポジウムを開催しており「防災“も”まちづくり」が地域で根付いた活動となるよう支援しています。

今後も、これらの取り組みを継続的にを行い、地域が独立して、地域防災力の強化を図る取り組みとなるよう必要な支援をまいります。

防災“も”まちづくりマップ グループ①

世代・地域を越えた共創とまちづくり

●グループワークのまとめ

- 自治会全体の協議員が協力を表明しており、協議が円滑に進められている。地域内で協力体制が築けることが最大の成果
- まちづくり活動は継続できる体制が整っていない
- 活動地により、活動の進め方が異なる
- 自治会が協力を提供した地域でも人の移動ができていない
- マンパワーは豊富、連携のやり取りが多い

●アクションプラン

項目	取組内容	時期
●自治会全体のイベント開催		秋
●地域協議員(パラスメア学芸会)の合同発表会		冬
●協議員(広角)の法廷について協議(地域・市民連帯)		春
●自治会の話し合いをすすめて、若い世代への参加を働きかける		随時

●地区連携“全堂”プログラム

- 地域連携の合同発表会

【予定】
 ◎全堂は協議員(パラスメア学芸会)と連携して、活動、イベントなどを通じて地域を活性化させる。協議員(広角)との連携も進め、地域を活性化させる。協議員(パラスメア学芸会)との連携も進め、地域を活性化させる。

●まちづくりの体制

グループで話し合って作った防災“も”まちづくりマップ